

### 第34回総合治水ワーキングチーム会議の協議結果

日時 平成18年4月25日(火)13:30~20:30

場所 西宮市男女参画センター 411号室

出席者 (委員)松本(誠)、奥西、川谷、畑、村岡、岡田、加藤、佐々木、田村、中川、  
浅見、伊藤、草薙、酒井、谷田、土谷、山仲  
(河川管理者)田中、森田、渡邊、前川、前田、西村、合田  
(河川整備課)寒川  
(事務局)林、長尾、植田、木本

内容(協議結果)

#### 1 河道対策の検討及び基本高水の選定等

##### (1) 河道対策等の検討

整備計画レベル及び基本方針レベルでの「河道分担量の考え方」について、河川管理者から説明があった。協議した結果、整備計画について、コスト、期間をふまえて実現可能な複数の選択肢を提案し、目標と分担する対策を明示する等の論点を明らかにした上で、次回の流域委員会(5月2日開催予定)で協議することを確認した。

##### (2) 基本高水の選定

「基本高水選定の検討課題」、「基本高水流量の選定」について、河川管理者から説明があった。これらをふまえ協議した結果、下記のことを確認した。

基本高水については、4,700m<sup>3</sup>/s(H16年モデル型)と4,000m<sup>3</sup>/s(S37.6)の二つに絞って今後検討する。

次回流域委員会では、基本高水を上記の二つに絞った経過と論点をWTから説明した上で、現時点で洪水調節施設の内訳については決定できない前提で、全委員は基本高水をどう選択するかについて意見を述べる。

河川管理者は、整備計画レベルにおける流域対策について、最大限の効果量を試算し、WTに報告する。

##### (3) 水道事業者等ヒアリング

4月28日(金)に、各水道事業関係者(企業庁水道課、阪神水道企業団、ビジョン課、神戸市、西宮市、宝塚市、三田市)から、既存ダムの治水活用についての考え方をヒアリングすることとなった。

#### 2 その他

##### (1) 次回以降の会議の協議事項

洪水調節施設  
総合治水対策  
基本方針、整備計画の河道分担

##### (2) 今後の日程(開催日時)

第35回 4月28日(金)13:30~  
第36回 5月11日(木)17:00~  
第37回 5月16日(火)13:30~  
第38回 5月23日(火)13:30~  
第39回 5月30日(火)13:30~  
第40回 6月6日(火)13:30~  
第41回 6月13日(火)13:30~

#### 当日配付資料

- 資料 1 基本高水選定の検討課題
- 資料 2 武庫川における河道分担量の考え方
- 資料 3-1 第 33 回総合治水 WT における討論の補足（奥西委員）
- 資料 3-2 観測所数の相違による基本高水への影響について（伊藤委員）
- 資料 3-3 貯留施設の洪水調節効果量の比較（川谷委員）
- 資料 3-4 流域対策の対象箇所と流域の重要な自然環境（浅見委員）
- 資料 3-5 一級河川猪名川の堤防補強（伊藤委員）
- 資料 3-6 総合治水対策案についての意見書（土谷委員）
- 参考 1 確率統計の基礎（参考資料）（奥西委員）
- 参考 2 第 33 回総合治水ワーキングチーム協議結果
- 当日配布 基本高水流量の選定について